

人権の作文【六年生】

人を大切に

ぼくは、人を大切にしていきたいと思います。

まず、何をすれば、人を大切にできるのか考えました。

それは、あいさつではないかなと思いました。

身近なことだけれど、あいさつをしないことがよくあります。まず、家族とのあいさつです。朝起きたときに、家族の

みんながあいさつをしてくれます。でも、ぼくは朝ねむくて、あいさつを返さないことがよくあります。いくらねむくても疲れていても、家族に元気なあいさつをし、家族も自分も元気に過ごそうと思いました。

次に地域のひととのあいさつです。ぼくは、地域のひとには元気なあいさつをしていると思っています。自分がやっていたらいいやという気持ちがありました。でも地域のひとにもあいさつがいっぱいできる西小にするためには、もっ

と元気なあいさつを心がけて、元気なあいさつを広げていきたいです。

最後に、学校でのあいさつのことです。運営委員会さんが元気に呼びかけてくれているのに、たまに返さない時があります。運営委員会さんが言っているように、あいさつ日本一の学校にするには、まず六年生が一番大きな声を出して元気なあいさつをしなくてはいけないと思います。それを実行するために一人一人の意識が大切だと思います。そこで、まず自分のあいさつを直し、周りの人にも声がけをしていこうと思います。

あいさつを意識することで、家族や友だち、地域のひととのつながりが強くなって、自分も相手も元気になることができます。それは、人を大切にすることだと思います。